



アロマ外来担当  
ペットマッサージセラピスト

**前田しのぶ 先生**

日本メディカルアロマテラピー動物臨床獣医師部会認定アロマラビスト。皮膚疾患等を持つペットのケアを担当し、日本はもとより、遠くは韓国や台湾でも講演を行っている。

竜之介動物病院  
院長

**徳田竜之介 先生**

アロマセラピーを用いたホリスティックケア(ペットが病気になりにくい健康的な体になるケア)に着目し、アロマ外来を開始。「アロマで、西洋医学+αの効果を目指しています」。

## 竜之介動物病院

1994年開院、2013年9月に新ビルオープン。九州動物学院・ペットリゾート『Rone本荘店』を併設。全国的に珍しい、急患24時間対応可能な動物病院として注目されている。所在地／熊本県中央区本荘6-16-34



(右上)ハーブ使用で、動物の肌に優しいオリジナル石鹼も開発。全4種・各1,080円 (右下)皮膚疾患を持つマリアちゃん(12歳)は、1週間で改善が見られたとか。アロマミストやクリームマッサージで、動物たちの治癒力を高める(左)情熱のある語り口の前田先生。実践的な講義は毎週水曜14:00~開催

# ア・ロ・マ の チ・カ・ラ

enjoy aroma life

## 香りでお手伝い アロマライフ

～ VOL.7 ～

『元気で長生き、を目指し、動物の自然治癒力にスイッチを入れましょう』

「動物と飼い主さんが、お互いに癒し合う為の道具がアロマなんです!」と、弾む声が部屋中に響いていた。動物の世界にも、広がりつつあるアロマセラピー。熊本での先駆者である前田先生が毎週1回行っている講座には実際に飼い犬を連れ訪れる受講者もいるが、精油を染み込ませたペーパーを鼻先で揺らしても、嗅覚が鋭いはずの犬たちが落ち着いているのに驚いた。「ワンちゃんの嗅覚は特別なもので、遠い所の臭いや薄く漂う臭いを嗅ぎ分ける能力が高いんです。それにアロマの香りは植物の自然の香りだから、ワンちゃんたちは何の害もありませんよ」。その言葉に、飼い主も安心した表情

「アロマセラピーは、飼い主さんも一緒に治療に参加できることが重要なんです。そうすると動物も飼い主さんも、どちらもリラックスできますよね」と話すのは、竜之介動物病院の徳田院長。アロマの有効性をいち早くトリミングや治療に取り入れているのだが、そこにはしっかりととしたガイドラインがある。「アロマ外来を受診する際には、必ず獣医師の診断を必要としてい

ます。動物に対するアロマは、まだ新しい分野。人に対する効果がそのまま動物に当てはまるかどうかは分からないので、動物が本来持つて自然治癒力のUP、感染症・皮膚疾患の予防、疼痛管理、動物特有の臭いの軽減など、11年間の経験から絞った効果を一般に広めながら、目指すのは「メディカルアロマと西洋医学の統合医療」だ。

「アロマセラピーは、飼い主さんも一緒に治療に参加できることが重要なんです。そうすると動物も飼い主さんも、どちらもリラックスできますよね」と話すのは、竜之介動物病院の徳田院長。アロマの有効性をいち早くトリミングや治療に取り入れているのだが、そこにはしっかりと着いた結果でもある。「九州動物学院では、学生たちと一緒に触れながら、ようやくどう両立しながら学び続け、言葉を話せない動物達にアロマと共に触れるながら、ようやくどう共に触れるながら、ようやくどうり着いた結果でもある。九州動物学院では、学生たちと一緒に研究をしているんです。データを集め、まだまだ研究を続け、動物と飼い主さんたちの役に立ちたいと思っています」。